

生まれ変わる資源ごみ

さて、ここで皆さんから分別して出していた資源ごみがどのようなものに再生されているか見てみましょう。

紙類・紙パック

・ノートやトイレト
ペーパーなどの再生
紙

ペットボトル

・ワイシャツ・カーテン・
カーペット



発泡スチロール

・ビデオテープのケース・
靴の材料

布類

・ジュータンの下敷の
クッション材・雑巾

びん

・びんや断熱材の原料・
道路の路盤材・タイ

アルミ缶

・缶・自動車のアルミ
ホイール

スチール缶

・建築用の鉄筋

この他にも資源物として収集されたものは、さまざまなものに生まれ変わっています。しかし、リサイクルは資源を分別して出せば終わりではありません。リサイクルされた製品をもう一度使用することで、初めて資源循環の輪がつながります。再生品や環境に配慮した製品を使うことも大切です。

生ごみは循環型社会を支える有能な資源です

皆さんは、可燃ごみの約40%が生ごみであることをごぞんじですか。実は生ごみこそ、最も有効な私たちで自然に還元できる資源です。

家庭から出る生ごみを堆肥化し、活用されている宮坂さんと名取さんにお話を伺いました。



庭先でボカシづくり

名取 まき糸 さん(若宮)

名取さんは、『クリーンアップふじみ』の活動を通して、ボカシを使った生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

体に害のないEM菌を使ったボカシをホームコンポストに入ると、ハエも寄り付かず生ごみの分解を早め、数ヶ月で良い堆肥に変わります。

今回は、ベランダでもできる簡単な生ごみ処理を教えてくださいました。

- ・ダンボール箱にビニールシートを敷き、土10・米ぬか2・鶏糞1の割合で混ぜたものを入れる。
- ・布をかけて雨のあたらない所に置き、シャベルで穴を掘り生ごみを入れて土をかける。生ごみは毎回場所を変えて入れる。

カサも増えず、良い堆肥に変わります。

【お問い合わせ】

クリーンアップふじみ事務局
建設課生活環境係 ☎62-9114



これが「生ごみ食いしん坊」です

宮坂 典利 さん(富士見)

宮坂さんは、建築・外構工事業を営む傍ら、牛糞の堆肥化を研究してきました。

『人と土と木の共生した生活環境づくり』が大切と考える宮坂さんは、持て余されぎみの牛糞を良質な有機肥料に変えることで、良い土づくりができ、ごみの減量にもつながると考えました。

良い堆肥の条件は、悪臭がなく完全に発酵していること。試行錯誤を繰り返し完成した堆肥は、室内の観葉植物にも使えたと同時に生ごみ処理に役立つことがわかり、これは大きな成果でした。

ホームコンポストに入れた生ごみに「生ごみ食いしん坊」(完全発酵牛糞堆肥)をふりかけ、消臭発酵促進剤をスプレーするだけで、短期間に良質な堆肥に生まれ変わらせ、土に戻します。

【お問い合わせ】

樹みのり建設 ☎62-2605

不法投棄は犯罪です

町内では大規模の不法投棄は減りましたが、小規模な不法投棄は増加しています。家庭ごみや処理に費用がかかるテレビ・洗濯機・タイヤなどが目立ちます。

不法投棄はもちろん犯罪です。家庭から出るごみも不法に投棄すると、5年以下の懲役か1千万円以下の罰金が科せられることもあります。不法投棄をする現場等を発見した場合は、県不法投棄ホットライン(0120・530・386)が役場生活環境係(☎62・9114)へご連絡ください。

62・9114 (有)9114)へご連絡ください。

大量生産・大量消費の時代から、限りある資源を大切にし、地球環境をまもる時代へと社会は移り変わりました。私たち一人ひとりがルールを守り、物を大切にすることで、自然に優しい循環型社会が形成されていきます。

きれいな水と空気、そして青い空を、子どもや孫たちに残してやるつもりではありませんか。